



問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111 (内線 2530)

平成 27 年 6 月 23 日

第二管区海上保安本部

午前 10 時 発表

八木港、鮎川港を測量船「天洋」により水深測量します

今回の水深測量により震災後に実施していた宮城県内の港湾での水深測量が全て終了します。

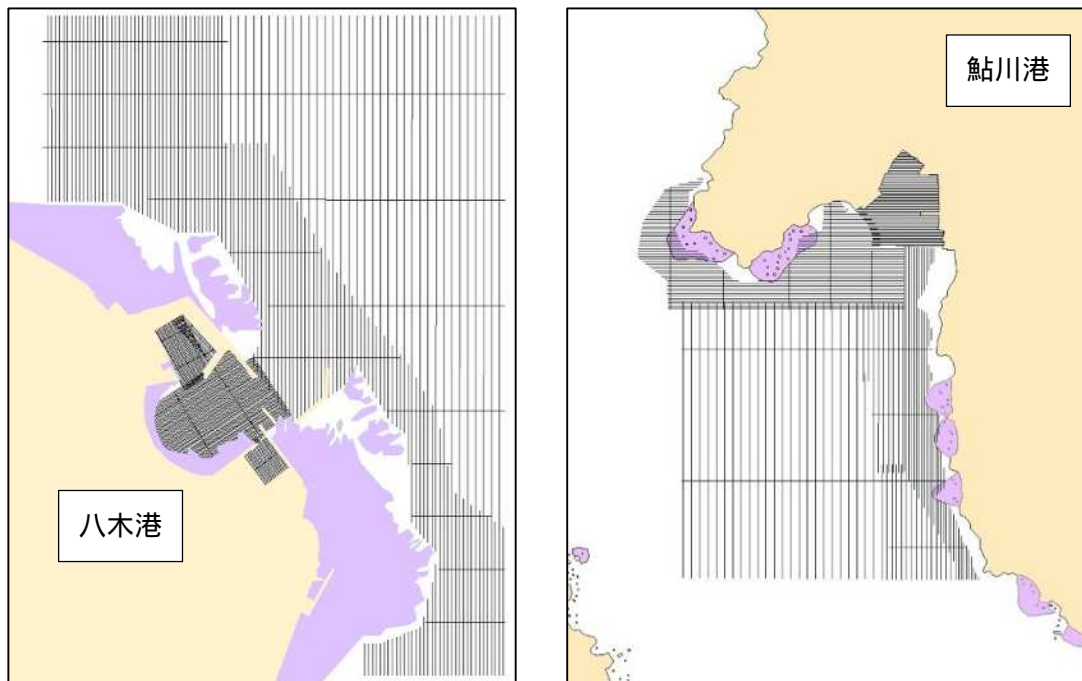
残すは岩手県内の山田港 1 港のみとなりました。

第二管区海上保安本部では、被災した港湾の早期復旧のため計画的に水深測量を行っています。

今回は 6 月 25 日から 7 月 16 日までの間、測量船「天洋」(船長伊藤孝)により八木港(岩手県)及び鮎川港(宮城県)の水深測量を実施します。

震災対応の水深測量として、平成 27 年度末までに管内 21 海域が水深測量の対象となっておりますが、今回の 2 港を実施することで 20 海域の水深測量を終了します。

水深測量実施予定区域・計画測線図



測量船は、雑巾掛けをするように計画した測線を往復します。

上の図の黒い実線は、今回の水路測量の計画した測線で、水深によって間隔を変えて測量しています。

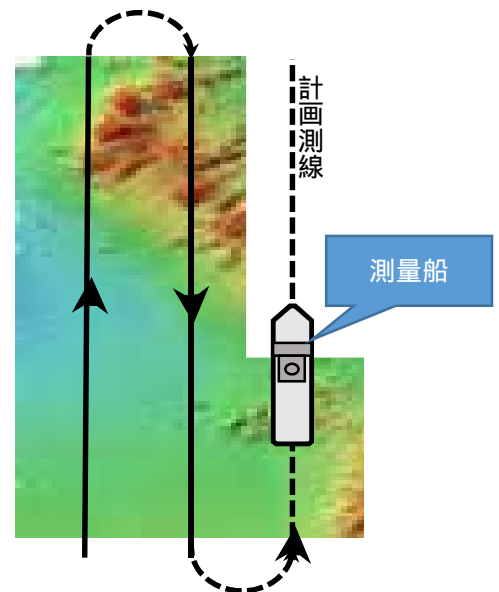
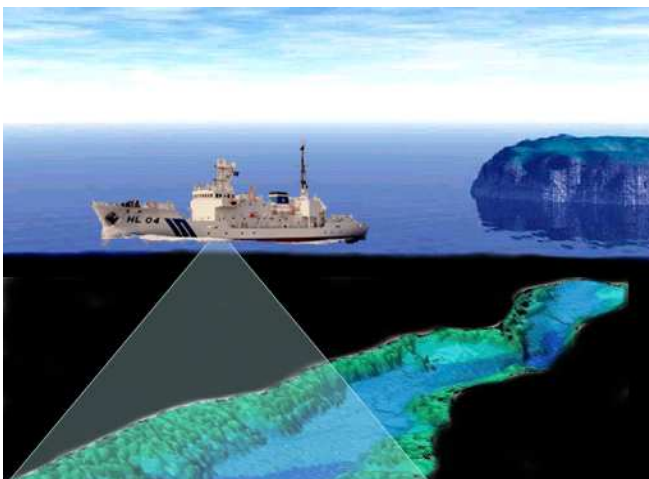
測量船「天洋」の概要



塩釜航路航行中の天洋

- ・ 総トン数 430 トン
- ・ 主要寸法 56.0×9.8×5.0m
(全長×巾×深さ)
- ・ 主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

水深測量の概要



測量船から海底に向けて広角に音波を出し、音波の往復時間と水中での音の速度から水深を計測します。

船の航跡に沿って水深の約3倍以上の幅で海底地形を明らかにすることができます。

被災港湾の水路測量

